

新技術の提案(様式2-1)

NO.

作成日 令和 6年 11月 18日

分野	1. 土木	工種	3. 道路			
技術の名称	高耐久路面標示用塗料		NETIS 番号			
副題(商標名等)	ニッペロードライン		登録(申請)年月日			
応募技術条件 チェック	次のいずれかの項目に適合(該当項目の口をチェック下さい)					
	<input type="checkbox"/> 県内に本社のある建設業者等が開発したもの。					
	<input type="checkbox"/> 県内に本社のある建設業者等(協会、組合等を含む)が中心となって開発したもの					
効果	右番号から選択 1・2・3・5	1 コストの縮減	6 施工性の向上	分類	右番号から選択	
		2 安全性向上	7 その他		2	
		3 品質の向上	効果を選択した理由を 下記概要や特徴に含めて 記入してください			1 工法
		4 工期の短縮				2 材料
		5 環境				3 機械
	4 情報					
					5 その他	
開発者 (提案者)	会社名	日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社				
	住所	東京都品川区南品川4-1-15	TEL	03-3740-1537		
問合せ先	会社名	日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社				
	担当部署	営業本部 新市場開発部				
	氏名	辻 美生				
	住所	東京都品川区南品川4-1-15				
	TEL	03-3740-1547	FAX	03-3740-1537		
	URL	https://nipponpaint-industrial.com/				
	E-mail	mio.tsuji@nipponpaint.jp				
概要						
当社で培われた樹脂配合技術を応用することで開発された、従来の溶融材と比較して約4倍の耐久性を持つ全く新しい路面標示用塗料。強靱な塗膜によって耐摩耗性・耐候性に優れ、長期に渡り施工当時の外観を保持することができる。						
特徴						
<ul style="list-style-type: none"> ・現行溶融材と比較して膜厚が約3分の1であり、薄膜ながら高耐久な路面標示を設置可能 ・高寿命化によりインフラのライフサイクルコストを削減 ・工事回数の減少により交通安全性の向上にも寄与 ・環境配慮型設計により、施工1回あたりの温室効果ガスの排出量を削減可能 						
施工方法						
<ul style="list-style-type: none"> ・専用施工機にて施工 ・2液反応型のため、2液を混合させながらスプレーで塗料を吐出する ・吐出幅は15cm～45cmまで調整可能 						
施工・材料単価(従来との比較)						
試験施工段階のため価格設定はなし						
適用条件・範囲						
<ul style="list-style-type: none"> ・アスファルト路面に施工可能 (ただし、旧路面標示材の劣化著しい場合または施工1年未満の場合は、旧塗膜を除去すること) (半たわみ舗装面は未検証のため施工不可) 						
施工・使用後の環境への影響						
<ul style="list-style-type: none"> ・薄膜設計のため塗料使用量を抑えた施工が可能 ・高温加温せずに施工可能なため、材料の加熱時に発生する温室効果ガスを削減可能 						
施工・使用上の留意点						
<ul style="list-style-type: none"> ・施工には本塗料専用の施工機が必要 ・施工後の交通開放まで、塗膜硬化乾燥時間となる10分～30分程度を想定 						
実績状況(相手先、件数など)						
千葉県内で1件の試験施工を実施						
その他(特許番号、各種適合基準、グリーン購入法、建設技術審査証明書・GISなど)						
なし						

高耐久路面標示用塗料 コンセプト

高耐久路面標示用塗料

当塗料は、現在多くの路面で使用されている現行溶融型と対比した際に、およそ**4倍の耐久性能**をもった高耐久路面標示用塗料です。

✓導入メリット

- ①既存路面標示の高寿命化
 - 修繕対応可能エリアが増加
 - 施工業者の人手不足への対策
- ②工事規制回数の削減
 - 安全性の向上
 - 工事規制難の箇所への対策
- ③環境配慮型塗料
 - 温室効果ガス削減

路面標示に関するこのような悩みを解決します

安全を考えると工事の交通規制回数を減らしたい



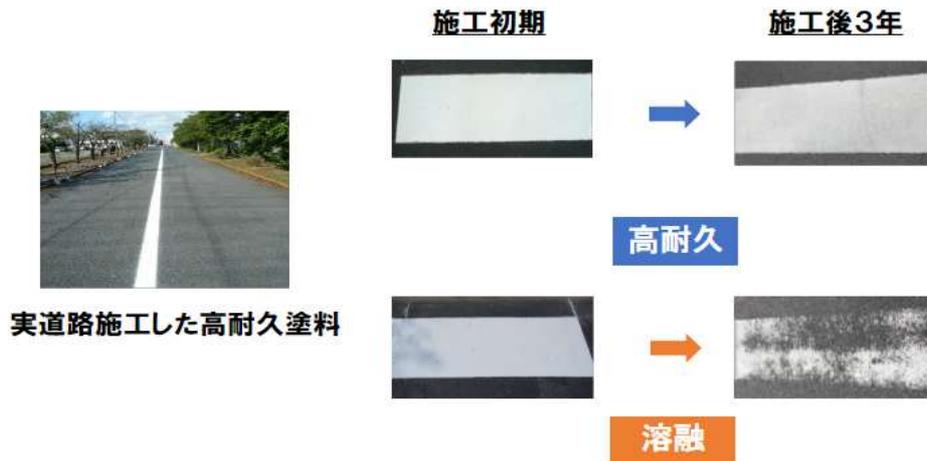
横断歩道や停止線等は車両に踏まれて、すぐに消えてしまう



実環境での耐久性検証結果

トラック等が走行する道路に塗装しました

高耐久品と溶融材を同時に施工し、3年間の経時観察を実施



弊社の高耐久品は、溶融材が劣化しアスファルト露出した状態になる過酷な環境下において、施工初期と変わらず綺麗な外観を維持できることを確認しております